

令和2年度 運営会議

目 次

I	令和元年度決算及び令和2年度予算	1
II	課題と取組	
1	福岡高速道路ネットワークの強化	9
2	構造物の維持管理	18
3	大規模災害対応	23
4	事故・渋滞対策	26
5	お客様サービスの推進	32
6	その他	34



令和2年7月10日

福岡北九州高速道路公社

(1) 令和元年度決算

※決算見込

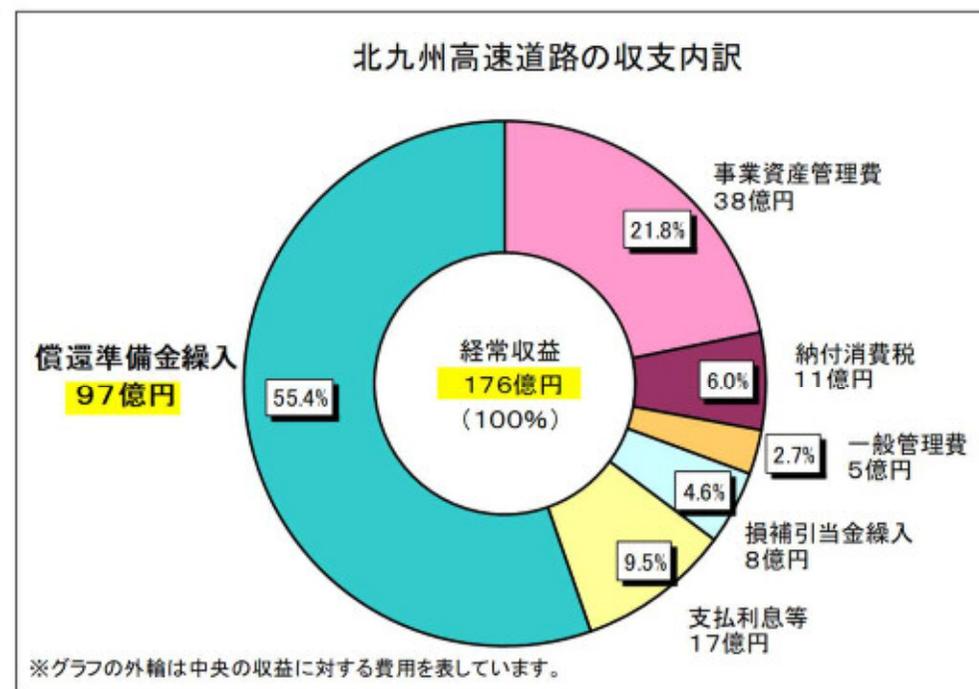
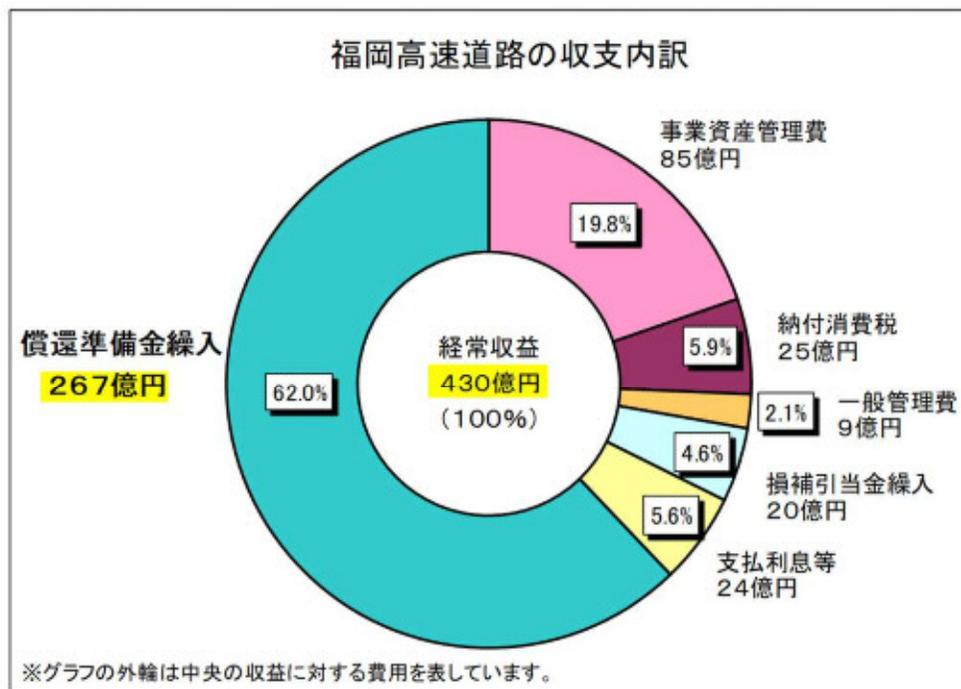
① 損益の概要

< 福岡高速 >

令和元事業年度の福岡高速道路部門の損益は、
 経常収益 **430億円** に対し、経常費用 **163億円**、
 差引き収支差は **267億円** となり、
 これを償還準備金繰入として計上します。

< 北九州高速 >

令和元事業年度の北九州高速道路部門の損益は、
 経常収益 **176億円** に対し、経常費用 **79億円**、
 差引き収支差は **97億円** となり、
 これを償還準備金繰入として計上します。



※ 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

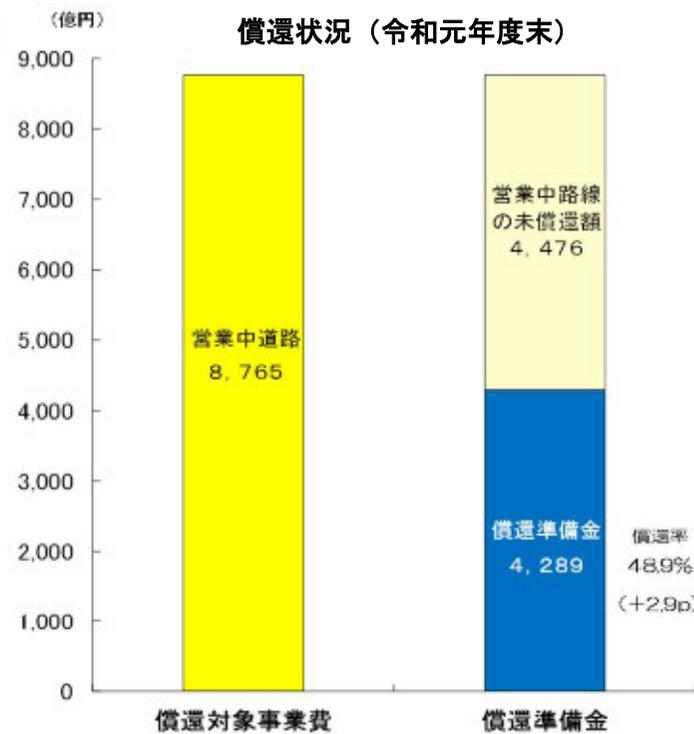
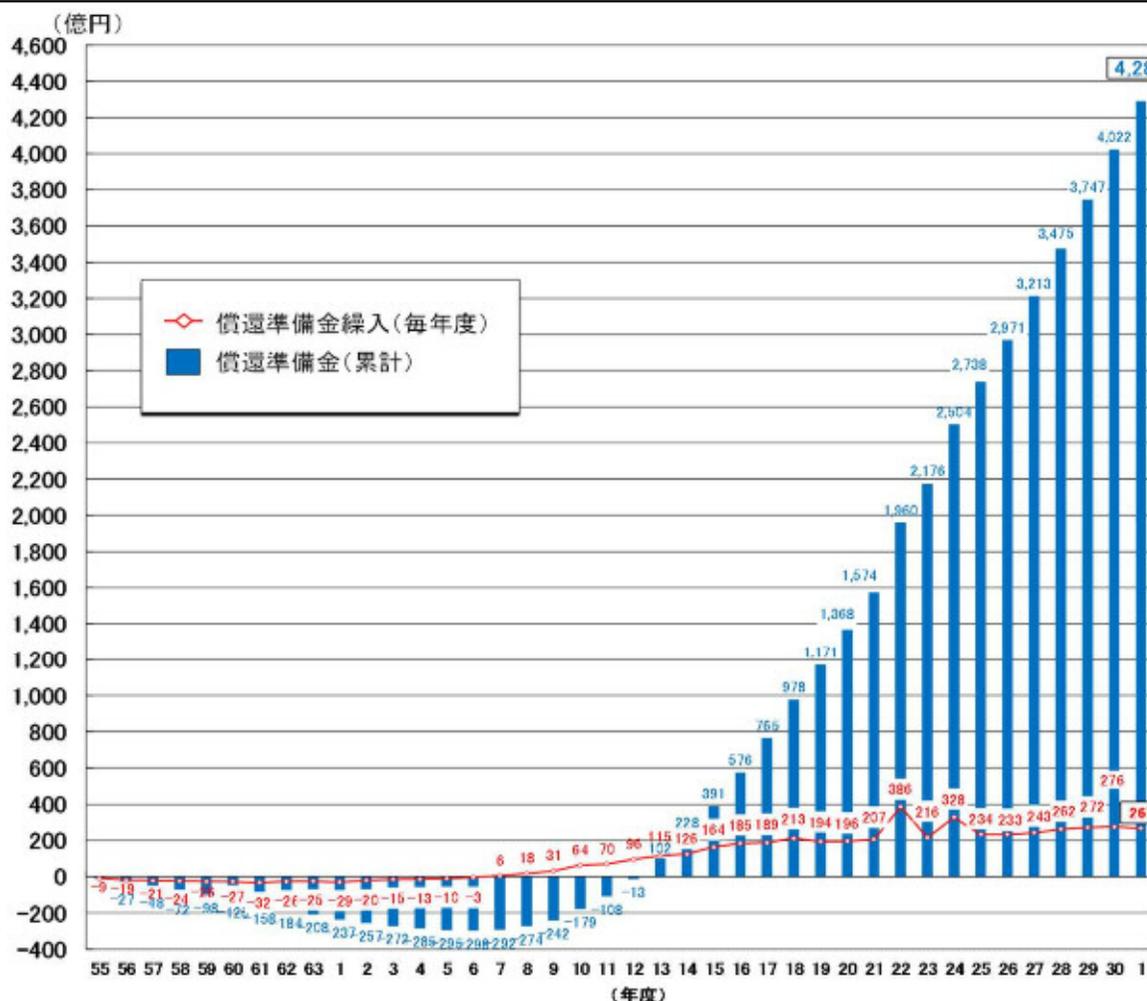
(1) 令和元年度決算

② 償還準備金の推移と償還状況

<福岡高速>

※決算見込

令和元年度の償還準備金繰入金は267億円で、年度末の償還準備金の累計は4,289億円。償還率は48.9%



(単位: 億円)

営業中道路の資産総額	資産見返交付金	営業中道路 (償還対象額)	償還準備金	未償還残高
A	B	C=(A-B)	D	E=(C-D)
8,788	23	8,765	4,289	4,476

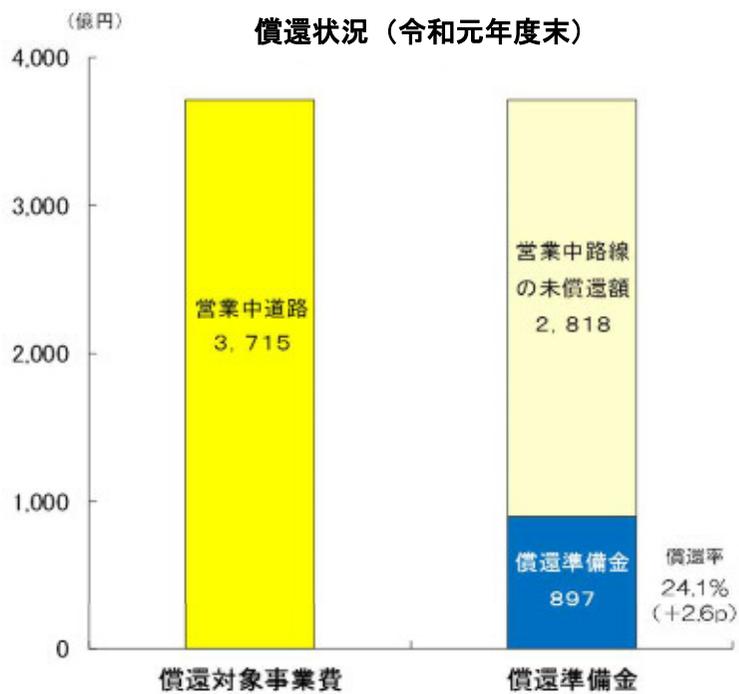
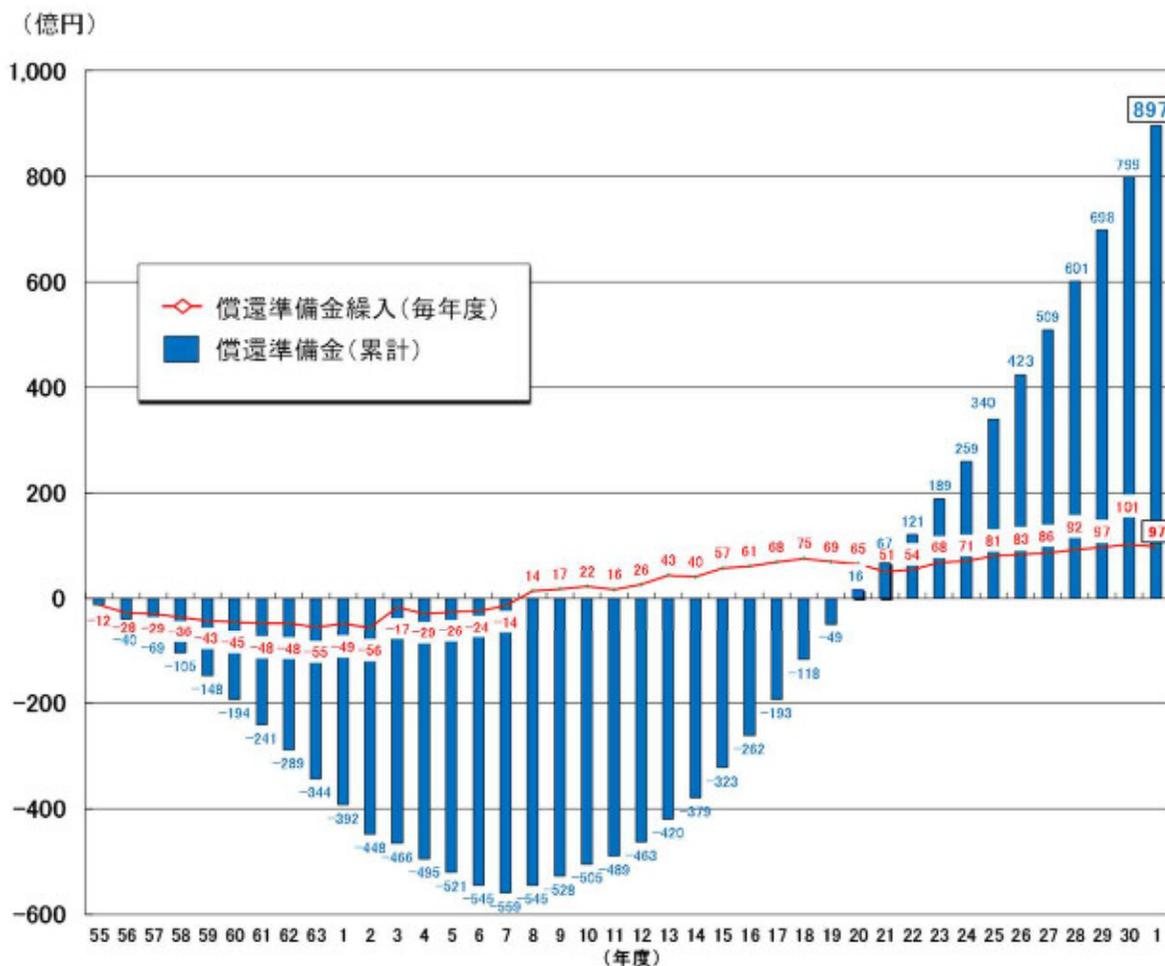
※ 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

(1) 令和元年度決算

※決算見込

② 償還準備金の推移と償還状況 ＜北九州高速＞

令和元年度の償還準備金繰入金は97億円で、年度末の償還準備金の累計は897億円。償還率は24.1%。



(単位: 億円)

営業中道路の資産総額	資産見返交付金	営業中道路(償還対象額)	償還準備金	未償還残高
A	B	C=(A-B)	D	E=(C-D)
3,760	46	3,715	897	2,818

※ 繰越勘繰の関係上、合計において合致しない場合があります。

(2) 令和2年度予算

① 事業実施計画

○建設事業

- ・福岡市東部地域全体の広域的な交通需要などへの対応を行うために、都市高速とアイランドシティを結ぶ福岡高速6号線（アイランドシティ線）の工事完了に向けて整備を推進します。

○管理事業

- ・営業中道路（福岡高速56.8km、北九州高速49.5km）の適正な維持管理に努め、「安全で快適な都市高速」を目指します。

② 収入支出予算

(単位:億円)

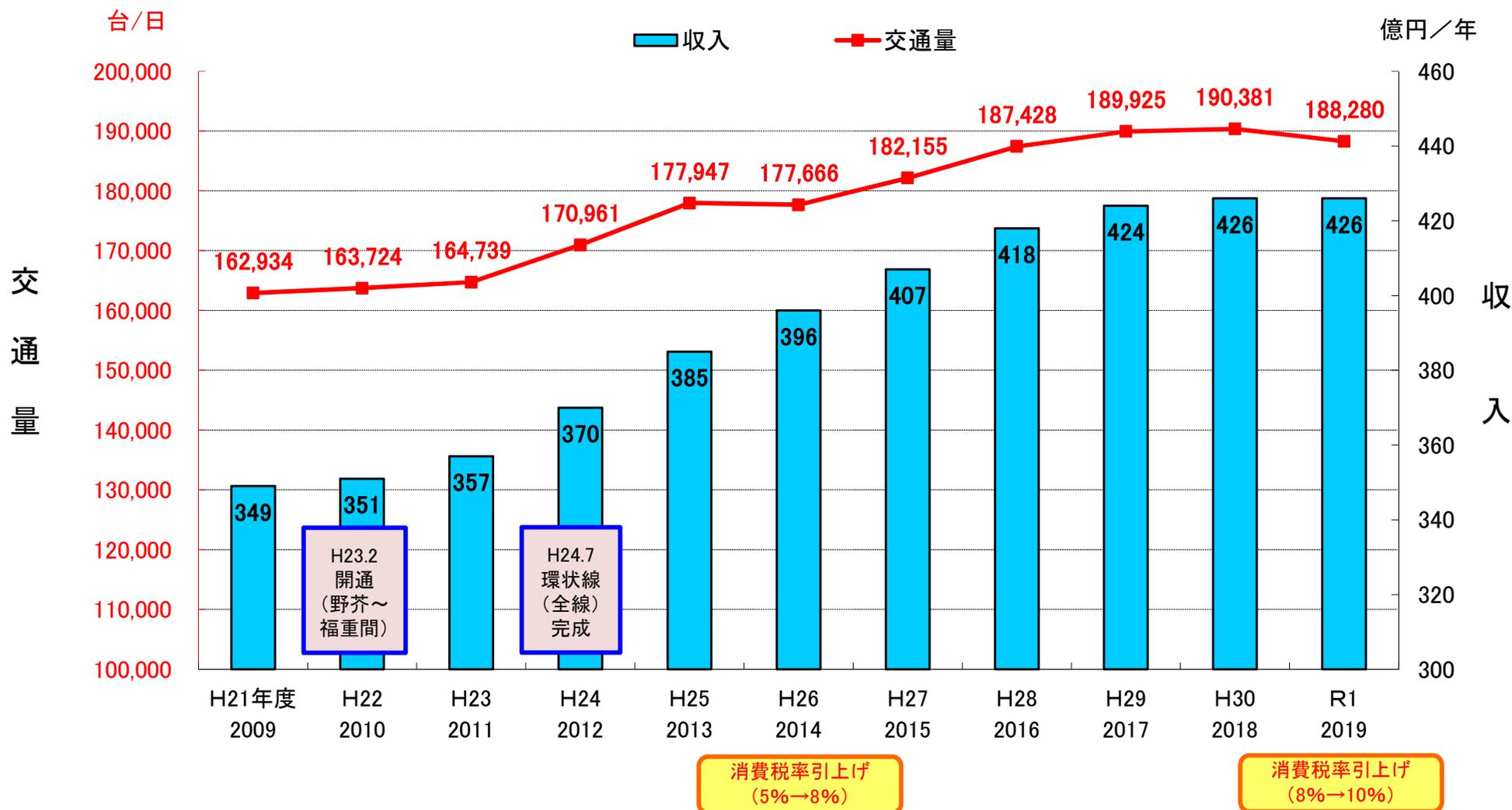
事業区分	収入			支出				
	項目	福岡高速	北九州高速	計	項目	福岡高速	北九州高速	計
建設事業	設立団体出資金	10	-	10	高速道路建設費	61	-	61
	政府無利子貸付金	17	-	17	一般管理費	4	-	4
	特別転貸債	23	-	23	建設利息	2	-	2
	民間借入金	17	-	17				
	小計	67	-	67	小計	67	-	67
管理事業	高速道路料金収入	425	176	601	維持改良費	94	20	114
	駐車場料金収入	1	1	2	業務管理費	56	36	92
	原因者負担金受入	1	1	1	(内 納付消費税)	(21)	(14)	(34)
	民間借入金	88	42	130	原因者負担補修費	1	1	1
	業務外収入	1	1	1	一般管理費	10	6	16
					業務外支出	353	158	512
					(内 元金償還金)	(332)	(143)	(475)
					(内 支払利息等)	(21)	(15)	(37)
小計	515	220	735	小計	515	220	735	
その他	受託業務収入等	1	1	2	受託業務費等	1	1	2
合計		582	222	803		582	222	803

※ 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

(3) 交通量と収入の推移

① 福岡高速

令和元年度の交通量は、主に新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度比約1.1%減少しました。収入は、消費税改定等による増加要因があり、前年度とほぼ同額となりました。



注) 料金収入のみを計上しています(駐車場収入を除く)

(3) 交通量と収入の推移

②北九州高速

令和元年度の交通量は、主に新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度比約2.2%減少しました。収入は、消費税改定等による増加要因があるものの、前年度より約2億円減少しました。

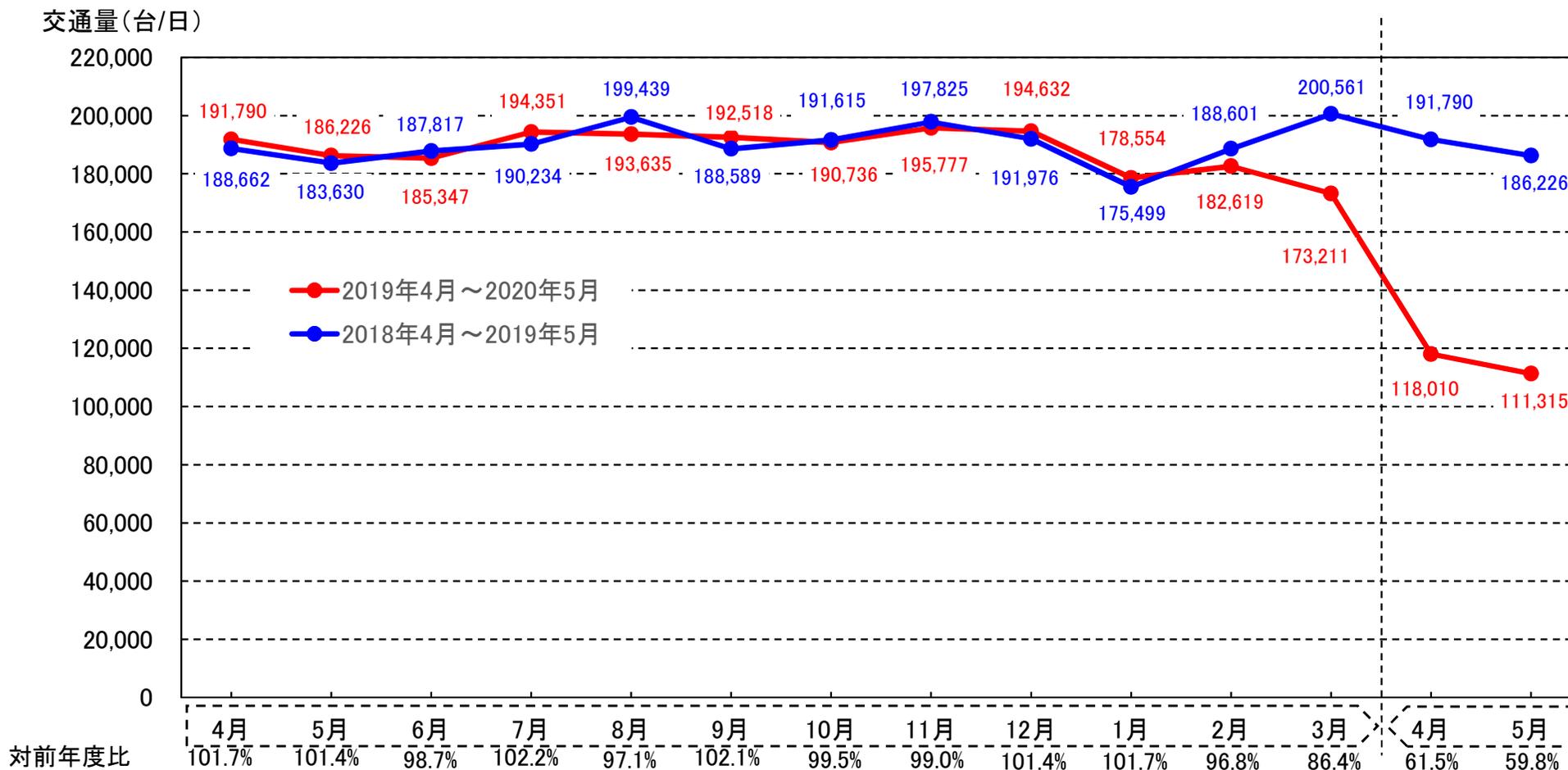


注) 料金収入のみを計上しています(駐車場収入を除く)

(参考)最近の交通量の状況

①福岡高速

令和2年1月までの交通量は、前年度比0.4%の増加でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2月から大きく減少しています。



※ 2020年5月は速報値

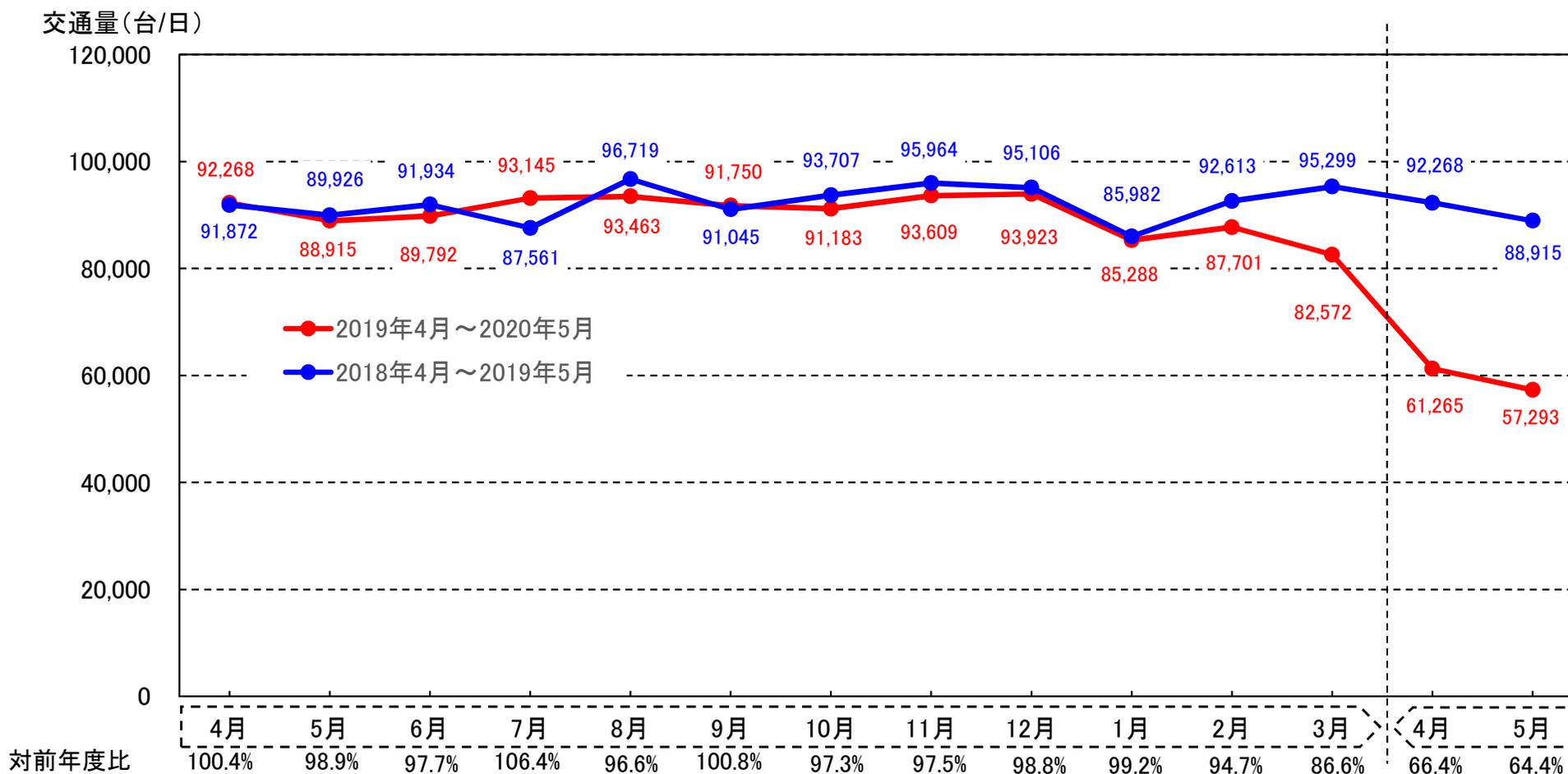
<新型コロナウイルス情報>

1/30 WHOの緊急事態宣言、2/26 イベント等自粛要請、3/10 自粛要請継続、4/7 緊急事態宣言(7都府県)、4/16 緊急事態宣言(全国)
 5/4 緊急事態宣言延長(全国)、5/14 緊急事態宣言解除(39県)、5/21 緊急事態宣言解除(関西圏2府1県)、5/25 緊急事態宣言解除(全国)

(参考)最近の交通量の状況

②北九州高速

令和2年1月までの交通量は、前年度比0.7%の減少でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2月から大きく減少しています。



※ 2020年5月は速報値

<新型コロナウイルス情報>

1/30 WHOの緊急事態宣言、2/26 イベント等自粛要請、3/10 自粛要請継続、4/7 緊急事態宣言(7都府県)、4/16 緊急事態宣言(全国)
5/4 緊急事態宣言延長(全国)、5/14 緊急事態宣言解除(39県)、5/21 緊急事態宣言解除(関西圏2府1県)、5/25 緊急事態宣言解除(全国)

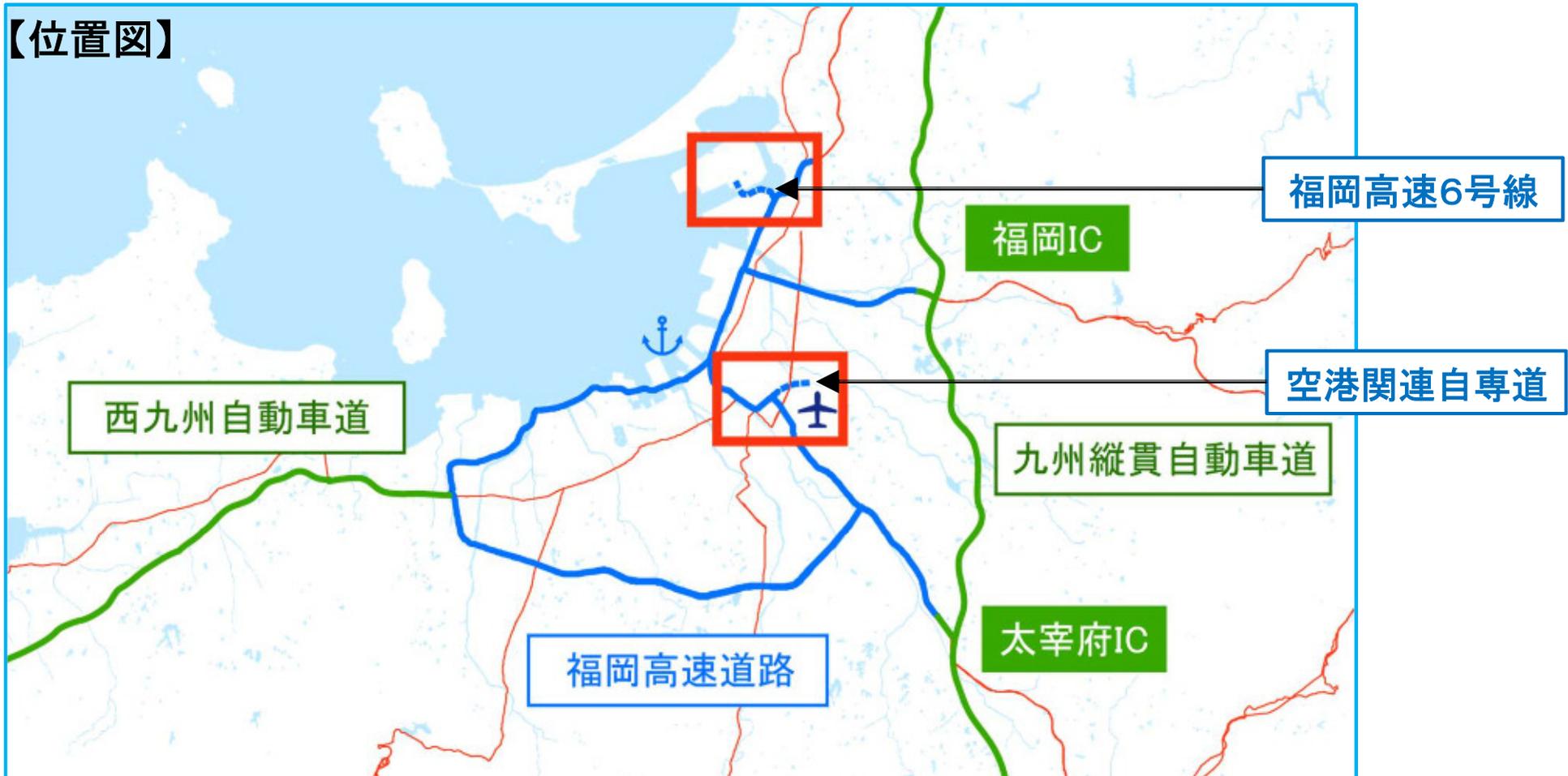
Ⅱ 課題と取組

1 福岡高速道路ネットワークの強化

(1) 三者合意について

平成27年3月17日、福岡県、福岡市及び福岡北九州高速道路公社は、福岡高速6号線(都市計画道路自動車専用道路アイランドシティ線)及び福岡空港関連の自動車専用道路(空港関連自専道)を進めていくことに合意しました。

【位置図】



(2) 福岡高速6号線(都市計画道路自動車専用道路アイランドシティ線)

① 目的

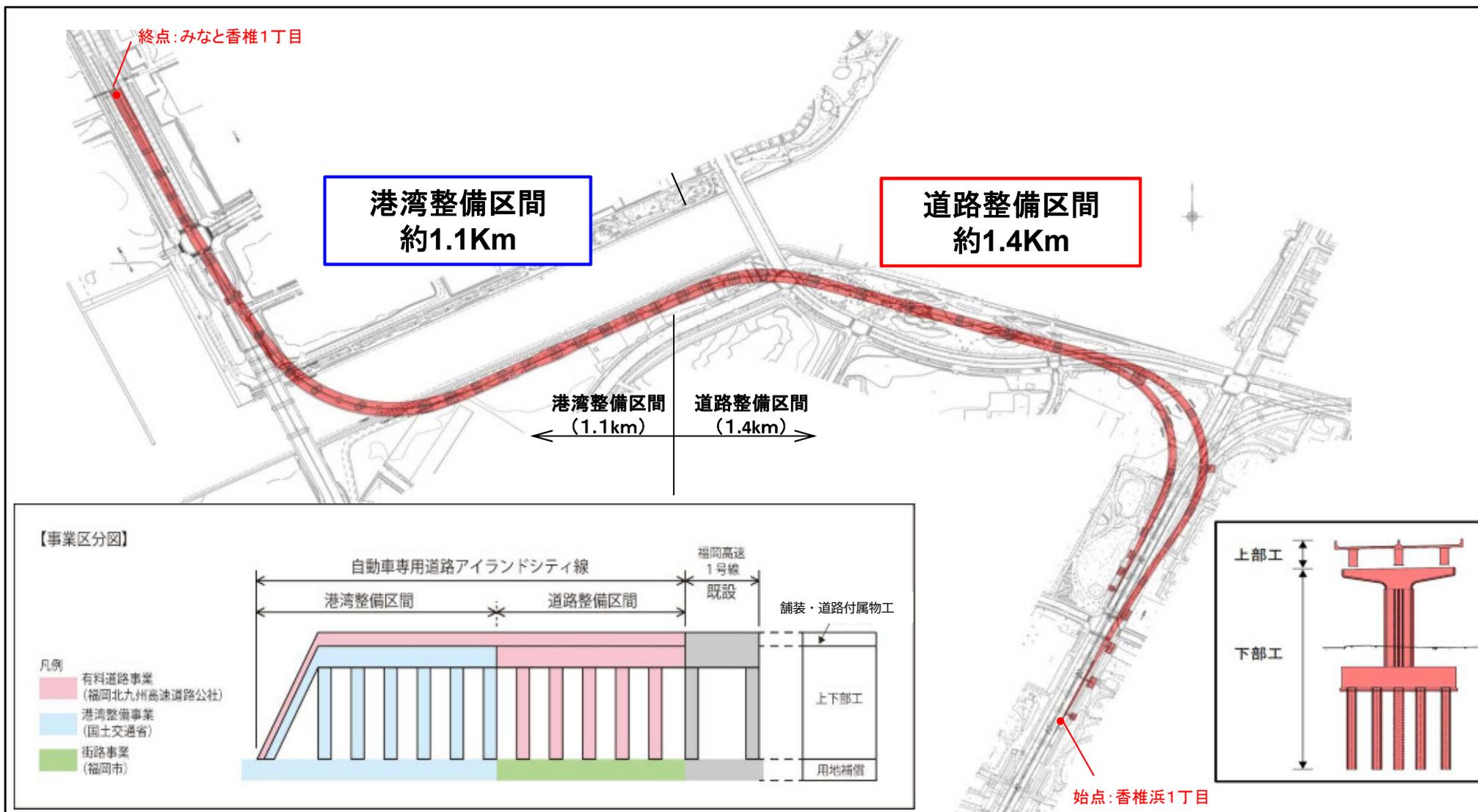
福岡市東部地域全体の広域的な交通需要などに対応するため、福岡高速1号線とアイランドシティを結ぶ延長約2.5kmの自動車専用道路を整備するものです。

② 位置図



③ 平面図

福岡高速6号線は、公社・国土交通省・福岡市の三者による事業であり、公社は始点から約1.4km区間の橋梁と全線にわたる舗装・道路付属物の整備を行います。



④ 施工状況(道路整備区間)

令和2年度は、床版工や壁高欄の工事に加え、舗装・道路付属物の整備を行う予定です。



(仮称)香椎浜JCT付近



香椎浜北公園上空



④ 施工状況(港湾整備区間)

令和2年度は、国土交通省において床版工や壁高欄の工事を行い、その後公社が舗装・道路付属物の整備を行う予定です。



香椎パークポート～アイランドシティ上空

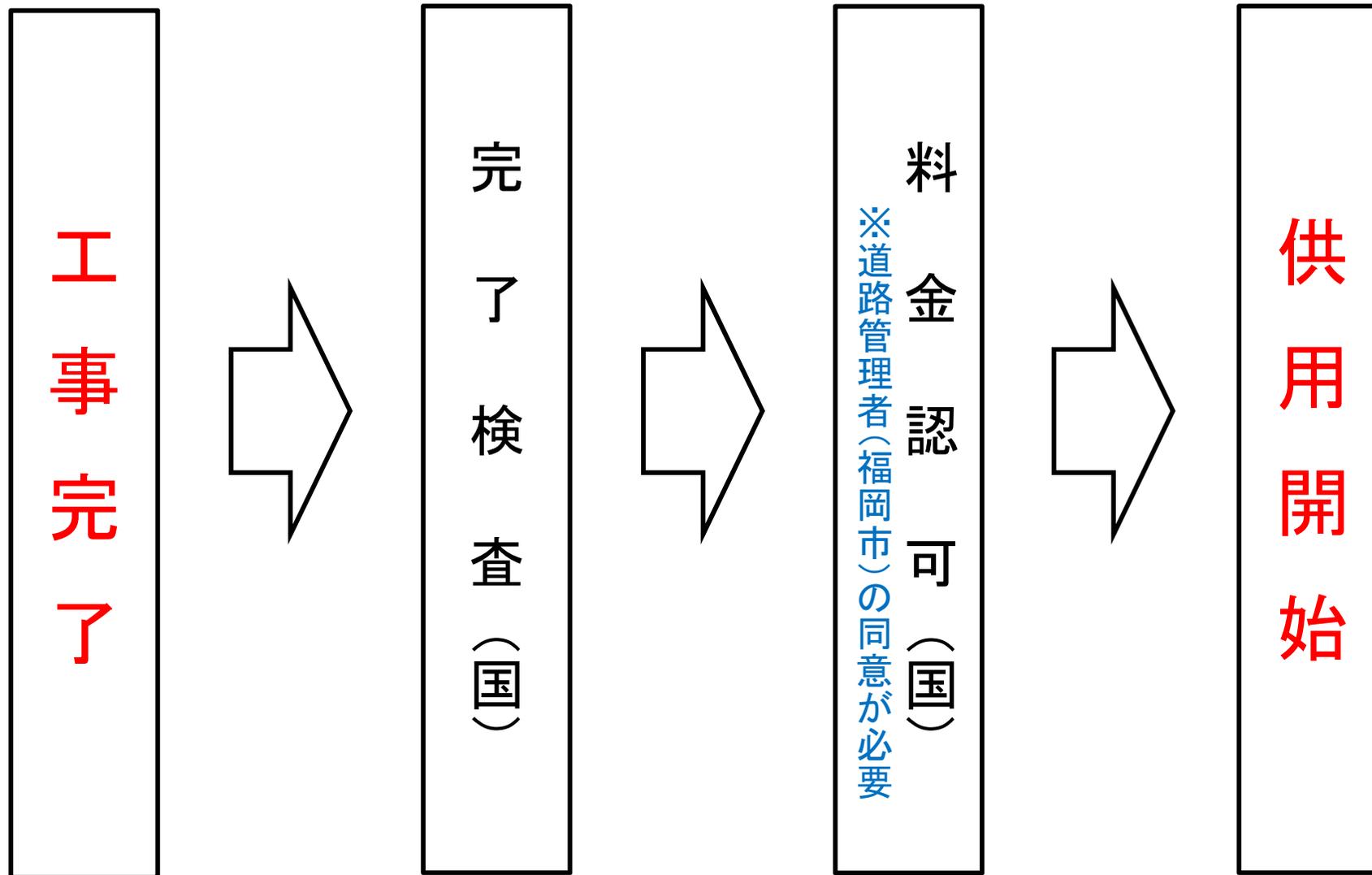


(仮称)アイランドシティ出入口付近



⑤ 供用開始までの主な流れ

工事完了後、必要な手続きを行い、令和3年春の供用開始を目指します。



(3) 福岡空港関連の自動車専用道路(空港関連自専道)

① 目的

福岡空港の滑走路増設などの機能強化が進められている中、福岡市南部地域や太宰府IC方面からの国内線旅客ターミナルへのアクセス強化と、国道3号福岡南バイパス空港口交差点の混雑緩和を図ります。

② 計画図



▲位置図

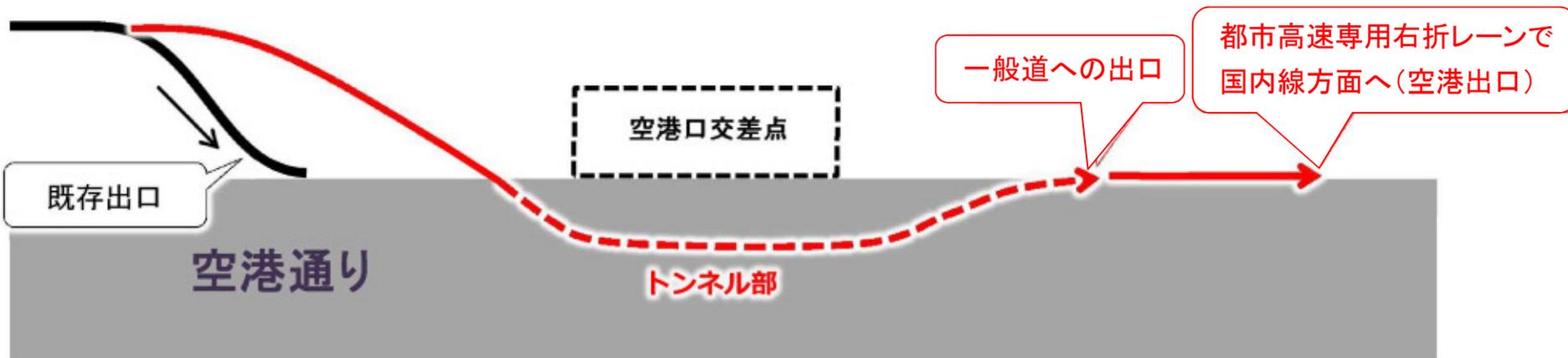
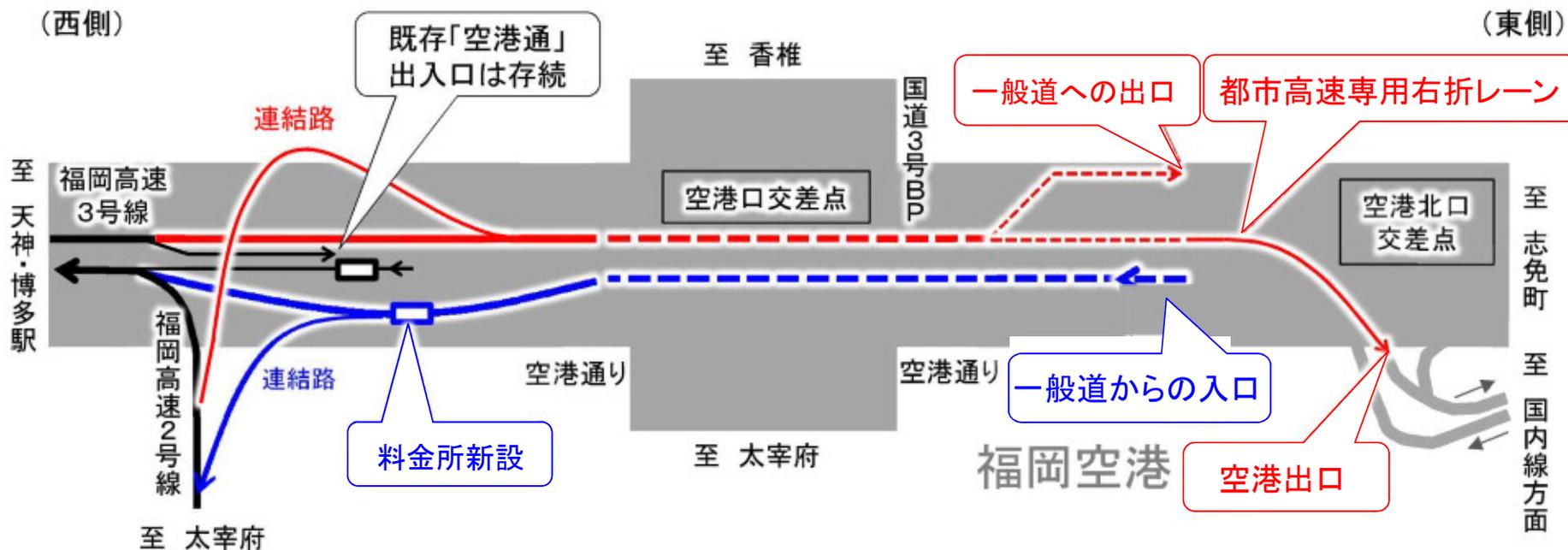
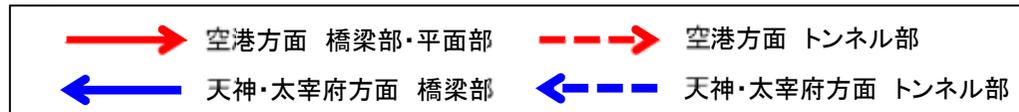


▲1・4・1・3号都市高速道路3号線 計画平面図

(3) 福岡空港関連の自動車専用道路(空港関連自専道)

③ 計画イメージ図

■凡例

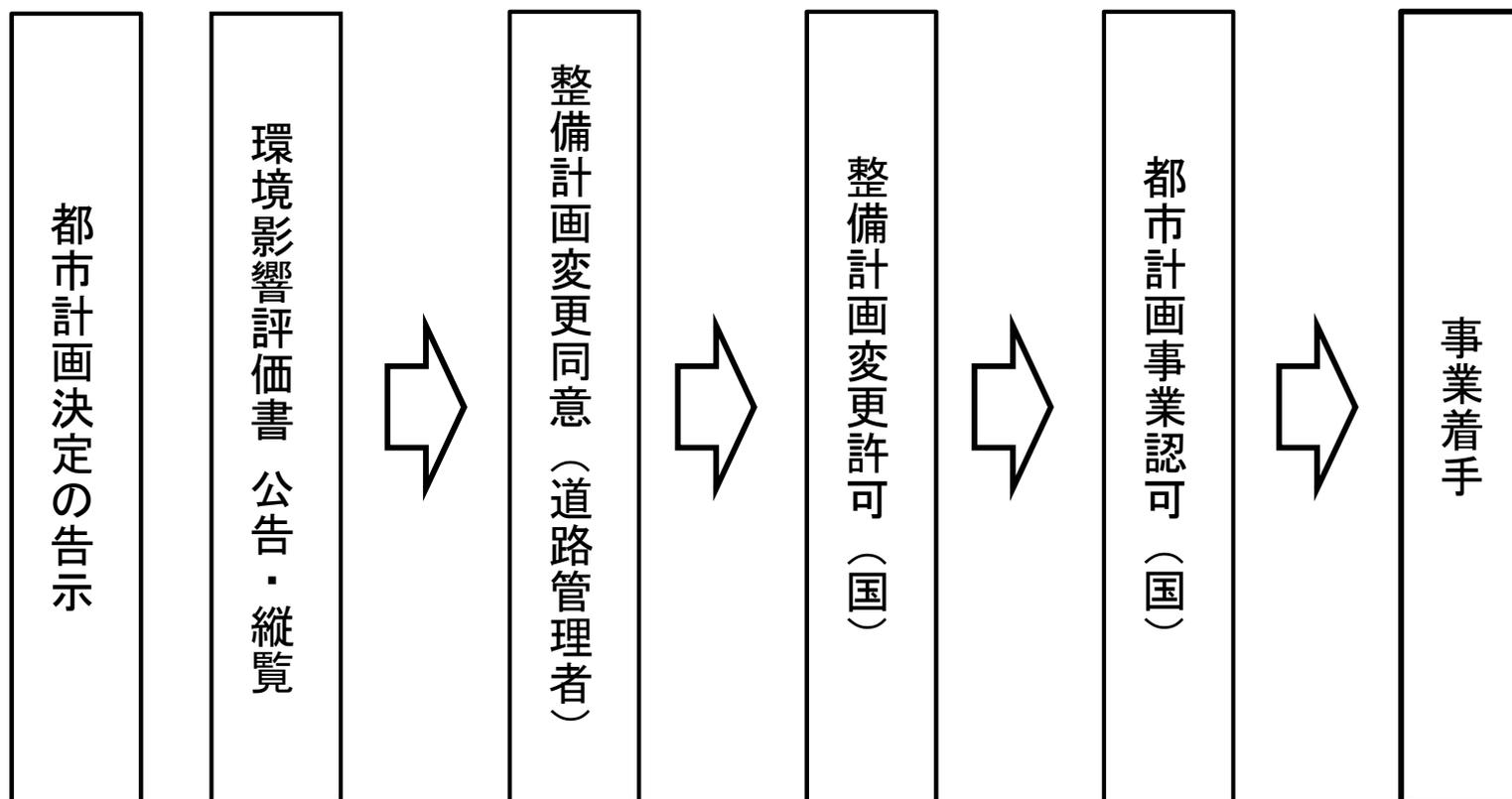


(3) 福岡空港関連の自動車専用道路(空港関連自専道)

④ 事業着手に向けた手続き

令和2年6月に福岡市において都市計画決定と環境影響評価の手続きが完了し、現在、公社が設立団体等と協議・調整を行いながら、令和3年度の事業着手を目指して手続きを進めております。

R2. 6. 29



(1) 福岡高速と北九州高速における維持管理の主な取り組み

年度	福岡高速道路の取組	北九州高速道路の取組	世の中の動き
平成15年度 ～平成20年度		<ul style="list-style-type: none"> ・大規模補修事業(4号線のみ) (平成15年度～平成20年度) 事業内容:トンネルやコンクリート橋のコンクリート剥離部分の補修やシート貼付による剥落防止、壁高欄、防護柵、遮音壁の取替 など 	
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化・予防保全事業 (平成24年度～令和13年度) 事業内容:床版防水及び床版への炭素繊維シート貼付、鋼桁端部の塗装塗替 など 		<ul style="list-style-type: none"> ・中央自動車道笹子トンネル天井板落下事故
平成25年度			<ul style="list-style-type: none"> ・社会資本メンテナンス元年 ・インフラ長寿命化基本計画
平成26年度			<ul style="list-style-type: none"> ・道路の老朽化対策の本格実施に関する提言「最後の警告・今すぐ本格的なメンテナンスに舵を切れ」 ・維持修繕に関する省令・告示の規定について近接目視による点検を5年に1回の頻度で実施 ・都道府県ごとに「道路メンテナンス会議」を設置
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・インフラ長寿命化計画(行動計画)の策定 		
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・インフラ長寿命化計画(個別施設計画)の策定 		
平成30年度		<ul style="list-style-type: none"> ・北九州高速道路の大規模修繕等に関する技術検討委員会より提言 	
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・インフラ長寿命化計画(個別施設計画)の更新 (更新内容:計画期間(令和5年度まで)、点検結果、次期点検計画、修繕計画) 		

(2) インフラ長寿命化計画(個別施設計画)の更新(令和元年度～令和5年度)

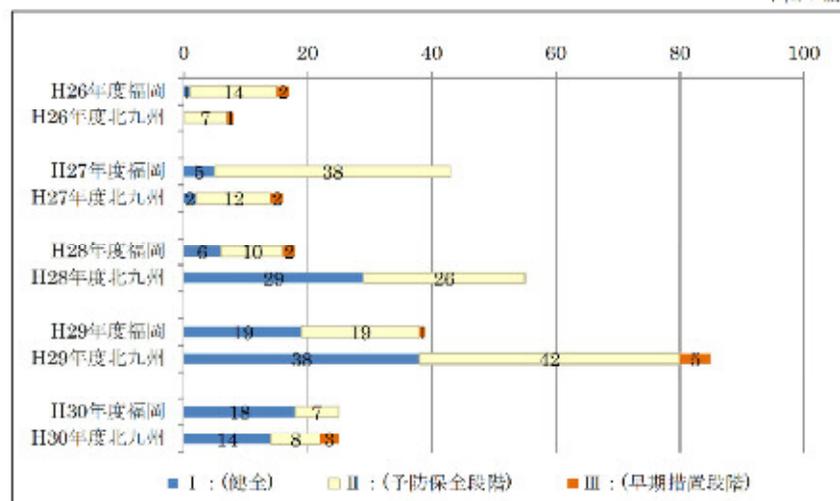
インフラ長寿命化計画に基づき個別施設ごとの点検及び修繕を行っています。
(対象施設:橋梁・トンネル・大型カルバート・門型標識)

平成30年度に一巡目の定期点検が完了しました。令和元年度から二巡目点検及び修繕を計画的に行っています。

①点検(平成25年度に改正された道路法に基づく、5年に一回の近接目視による点検)

- ・平成26年度～平成30年度で全施設の点検を完了し、令和元年度～令和5年度の5年間で二巡目の点検を実施します。

例:橋梁定期点検結果(平成26年度～平成30年度) (単位:橋)



健全性 判定区分

区分	状態
I 健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態。
II 予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III 早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV 緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

出典:国土交通省 道路局 道路橋定期点検要領(平成31.2)

②修繕

- ・早期措置が必要なIII判定について、今後計画的に各施設の修繕を行ってまいります。

(3) 福岡高速：道路維持補修の主な取り組み

施設の高齢化が進んでいることから、老朽化予防保全事業（平成24年度～令和13年度）で計画的な補修・補強を実施しています。

供用から30年以上が経ち、最も高齢化が進んでいる香椎～千鳥橋JCTから着手しています。

（工事進捗率：上部工 76%完了、下部工 94%完了）

他の区間についても、計画的に着手していく予定です。

・福岡高速1号線（香椎線）：香椎～千鳥橋JCT 区間

【工種】 橋梁補修工事

【上下部工】【損傷の特徴】 経年劣化による鋼桁の塗膜劣化や、交通荷重による床版の疲労



(損傷一例)

【補修前】



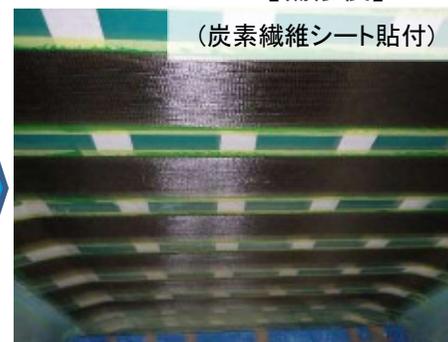
(塗膜塗替)

【補修後】



(損傷一例)

【補修前】



(炭素繊維シート貼付)

【補修中】



(炭素繊維補強)

【補修後】

凡例	供用年数	延長(km)
■	30年以上	16.5
■	20～29年	14.5
■	10～19年	20.8
■	10年未満	5.0
	合計	56.8

(令和2.3.31 時点)

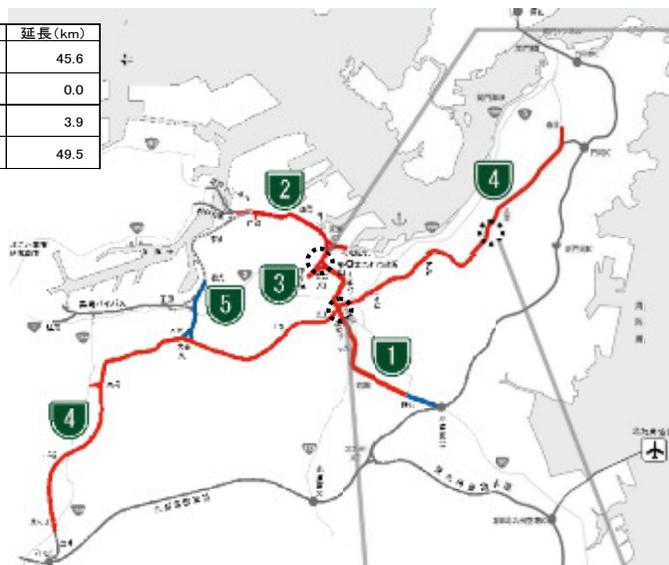
一部、築港～天神北区間についても、令和元年度から工事に着手

(4) 北九州高速：道路維持補修の主な取り組み

北九州高速道路は、供用から30年以上の区間が9割を超え、高齢化が進んでいることから、緊急的な維持補修に取り組んでいます。

凡例	供用年数	延長(km)
■	30年以上	45.6
■	20～29年	0.0
■	10～19年	3.9
	合計	49.5

(令和2.3.31
時点)



・北九州高速3号線：菜園場

[工種] **しゃ音壁取替工事**

[対策] しゃ音壁の腐食片の落下防止



【取替前】



【取替後】

・北九州高速1号線：篠崎(その他：1号線横代～若園、1・3号線愛宕、2・3号線小倉～日明)

[工種] **ジョイント補修工事**

[対策] ジョイントの破損片飛散に伴う車両損傷防止



【補修前】



【緊急補修】



【補修後】

・北九州高速4号線：第四高架橋

[工種] **鋼桁鋼構造物補修工事**

[対策] 鋼板の当て板による補強及び塗装



【補修前】



【補修後】

(5) 北九州高速の長寿命化を目指した取り組み

平成30年度に「北九州高速道路の大規模修繕等に関する技術検討委員会」より、「橋梁の大規模修繕等の必要性」について提言をいただきました。

この提言や地方道路公社の償還期間の改正等を踏まえ、大規模修繕事業等の早期着手に向け、財源確保等について国や設立団体と協議を進めています。

委員会からの提言(平成31年3月14日)

◆ 将来にわたって構造物の耐久性や健全性を確保するためには、大規模修繕事業が必要と判断される

◆ 大規模修繕事業の実施にあたっては、路線の特徴や構造物の損傷状況を踏まえ、最適な時期に最適な工法を選択し、維持管理コストの縮減を図ること

◆ 大規模修繕事業と併せて耐震補強事業に取り組み、仮設足場の共用等によって効率的で経済的な事業推進を図ること

委員会構成メンバー

委員長	松田 泰治	(九州大学 大学院教授)
副委員長	山口 栄輝	(九州工業大学 大学院教授)
副委員長	添田 政司	(福岡大学 大学院教授)
委員	2名	
オブザーバー	2名	

【参考】地方道路公社の償還期間の上限の延長

国において、道路整備特別措置法等に基づく「有料道路整備資金貸付要領」が改正(令和2年4月1日施行)

償還期間の上限: 40年以内 ⇒ 60年以内

(1) 大規模災害への備え

大規模な災害発生時に、復旧対応を迅速化するため、関係機関と協定を締結しています。平成30年7月豪雨を踏まえて、令和元年度、新たに九地整、及び民間三団体と協定を締結し、災害対応力を強化しました。

① 災害時に備えた協定

大規模な災害時の相互応援に関する協定（九地整）

目的: 資機材及び職員の相互応援 **【令和元年7月5日締結】**
○国土交通省九州地方整備局

震災時等における応急復旧業務の相互協力に関する協定（都市高速5団体）

目的: 災害時の人材・資機材の相互協力 **【平成24年3月7日締結】**
○首都高速道路株式会社 ○阪神高速道路株式会社
○名古屋高速道路公社 ○広島高速道路公社 ○福岡北九州高速道路公社

災害時における応急対策に関する協定（民間7団体）

目的: 災害時の都市高速の復旧に資する協定

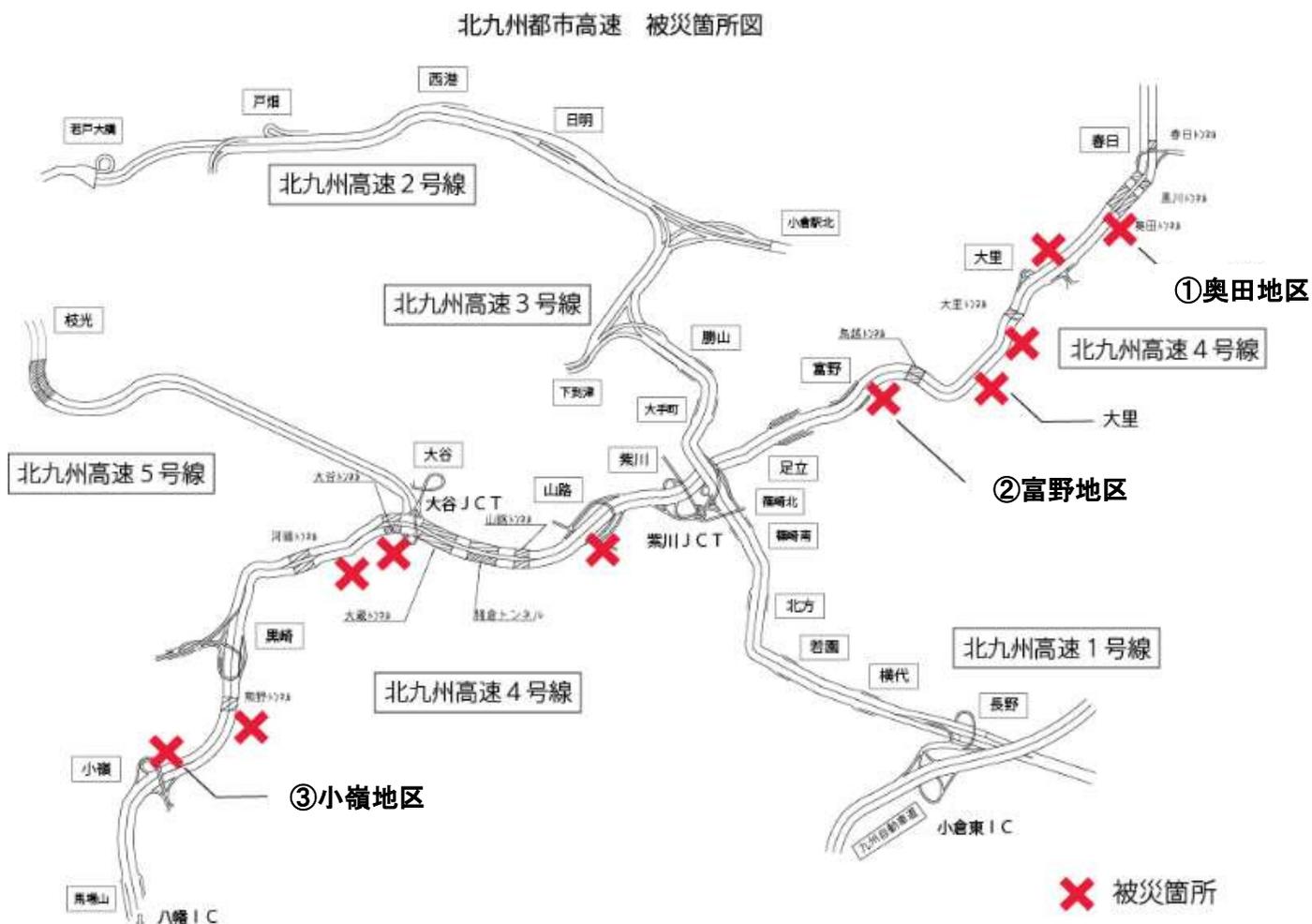
【平成18年3月1日締結】	【令和元年6月19日締結】
○日本建設業連合会(土木一般)	○建設コンサルタンツ協会(測量設計)
○日本橋梁建設協会(鋼構造物)	○福岡県地質調査業協会(地質調査)
○PC建設業協会(PC構造物)	○福岡県建設業協会(土木一般)
○日本道路建設業協会(舗装等)	

② 災害時に備えた計画

緊急輸送ルート等としての機能を確保するため、事業継続計画(BCP)を策定し、体制の整備を図っています。

(2) 平成30年7月豪雨 被災の復旧【北九州高速】

平成30年7月豪雨により、土砂流出やのり面崩壊等、全線で10ヶ所が被災しましたが、即座に応急復旧に着手し、被災から5日目に全線開放を行うとともに、令和2年3月に本復旧工事をすべて完了しました。



① 応急復旧

被災後、即座に応急復旧に着手し、関係機関等の応援もいただき、被災から5日目に全線開通を行いました。



関係機関等からの情報を集約し対策方針を協議



災害協定に基づく支援企業からの応援



昼夜を問わない復旧作業

② 本復旧の完了

本復旧は、国の補助事業に採択され、令和2年3月に完了しました。



土砂撤去工
(奥田地区)



法面保護工
(富野地区)



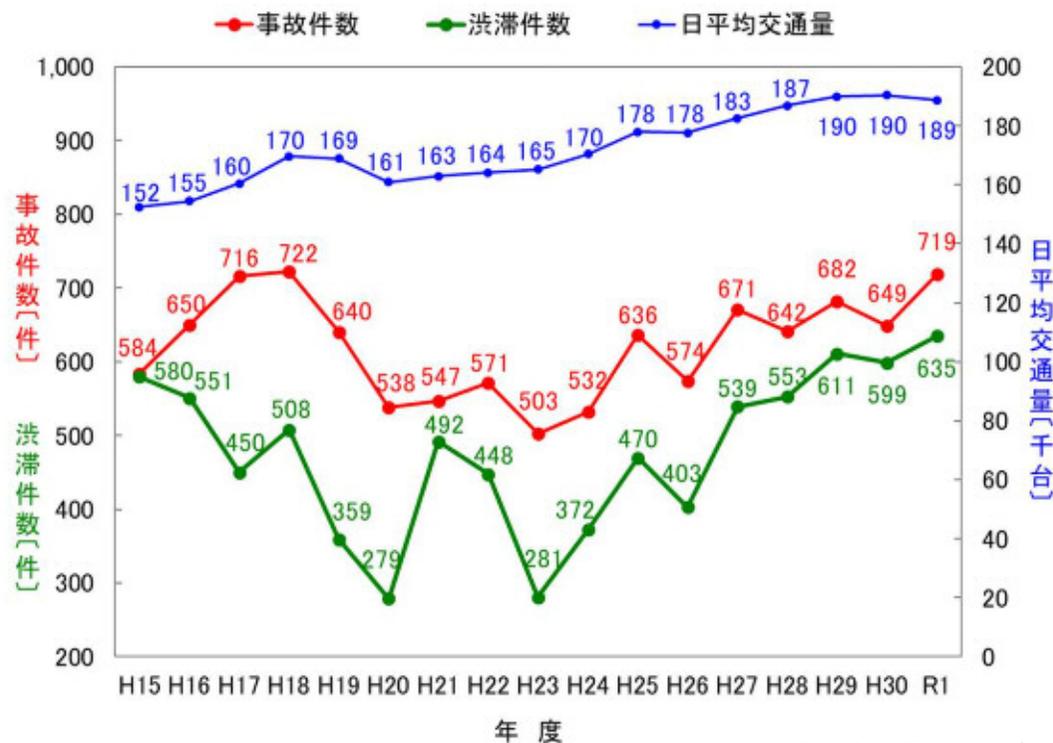
ブロック積復旧工
(小嶺地区)

(1) 事故と渋滞の推移

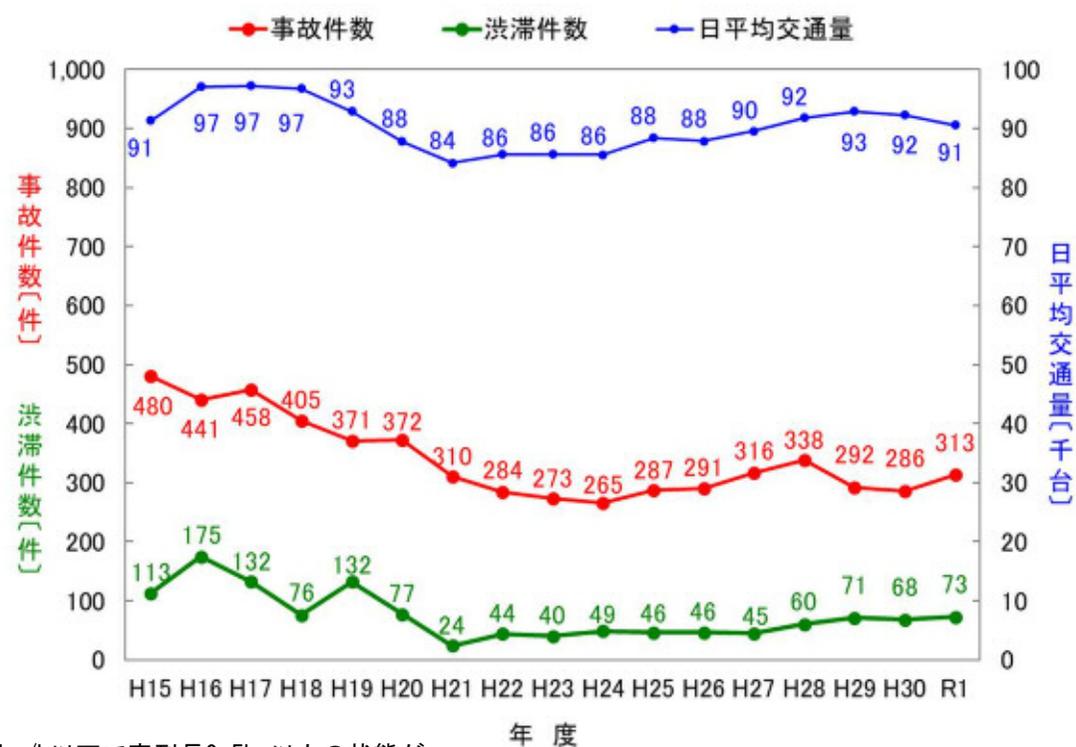
これまで、事故や渋滞対策に取り組んできましたが、令和元年度は前年度に比べ、福岡高速で事故が11%増、渋滞が6%増、北九州高速で事故が9%増、渋滞が7%増となりました。

【事故・渋滞件数】

■福岡高速



■北九州高速



※1) 渋滞：走行速度20km/h以下で車列長0.5km以上の状態が30分以上継続した場合（事故に伴う渋滞を含む）

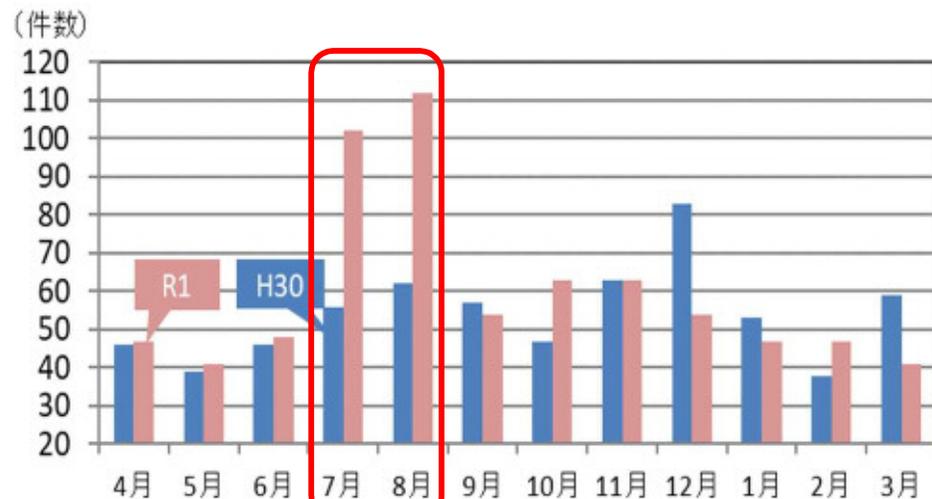
(2) 事故の特徴

福岡・北九州高速ともに、特に7・8月に事故が増加していますが、これは降水量の増加に伴いスリップが多発し、車両や施設への接触事故が増えたことが要因と考えられます。

【月別事故件数(前年度比較)】

■福岡高速

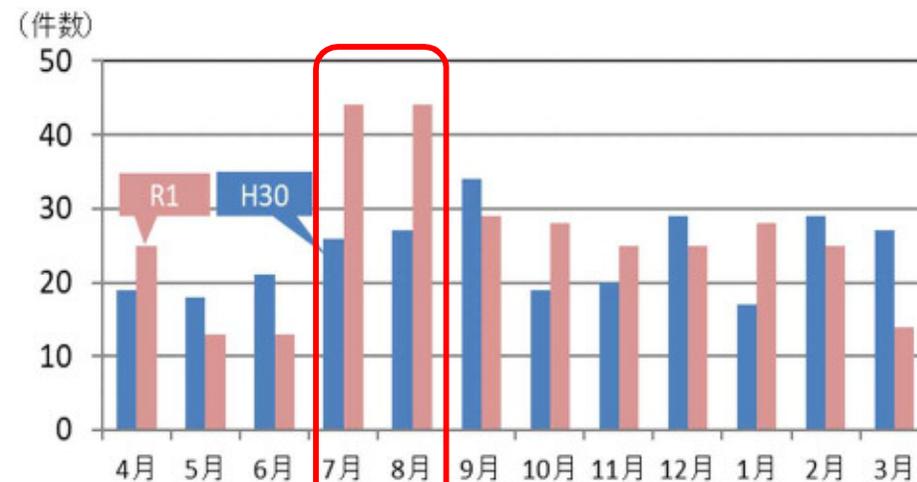
事故件数【月別】



〈前年度月別比較〉

■北九州高速

事故件数【月別】



〈前年度月別比較〉

夏(7, 8月)の雨天時に増加

(3) 事故・渋滞対策の主な取組

事故や渋滞の原因分析等を行いながら、舗装補修等の対策を実施しています。

■ 事故対策①：福岡高速 環状線(百道→愛宕)

・カーブ区間で、特に7・8月の雨天時に速度超過等による事故が多発



・滑り止め効果の高い舗装に更新
(R1.12更新以降、接触事故は0件)



(3) 事故・渋滞対策の主な取組

■ 事故対策② : 北九州高速5号線(枝光→大谷)

・度々、舗装劣化が発生しており、安全な走行に支障



・局所的な舗装修繕ではなく、面的に舗装を更新
(R2.2更新 以降、事故は0件)



(3) 事故・渋滞対策の主な取組

■ 渋滞対策：福岡高速 福岡西料金所

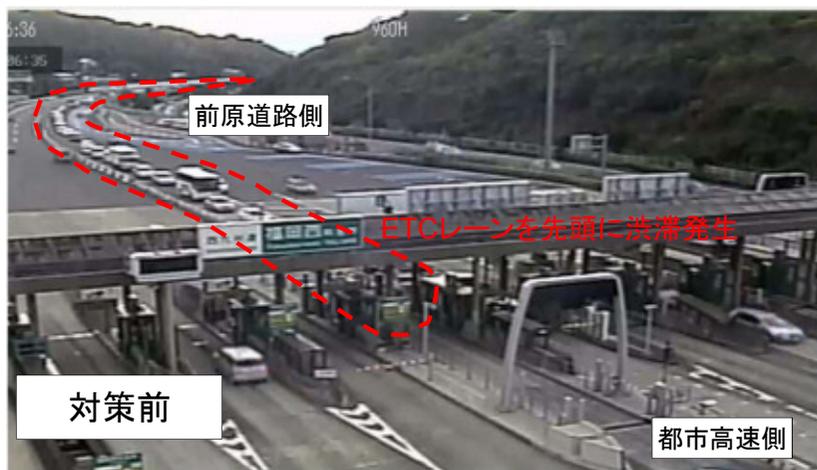
・福岡前原道路から都市高速へのETCレーンが1箇所しかないため、朝・夕のピーク時に渋滞発生



・ETCレーンを1箇所から2箇所へ増設（H31.3増設後、渋滞が大幅に緩和）



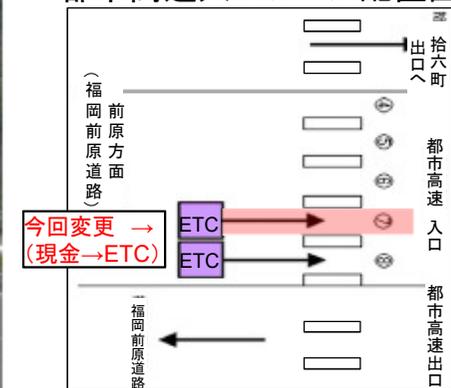
渋滞発生時(17時台)：渋滞長250m



設置後(17時台)



都市高速入口レーン配置図



福岡前原道路→都市高速入口側

(3) 事故・渋滞対策の主な取組

■ 逆走対策：福岡高速・北九州高速 全出口

・これまでも逆走対策を取り組んできたが、
R2.3に北九州高速で逆走による死亡事故が発生



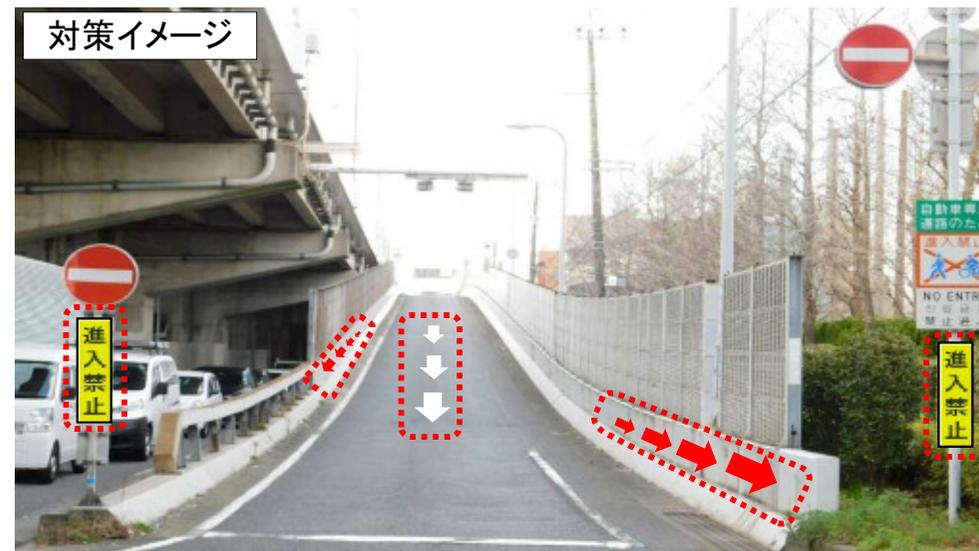
・両高速全出口で逆走対策を強化

①大型矢印の設置

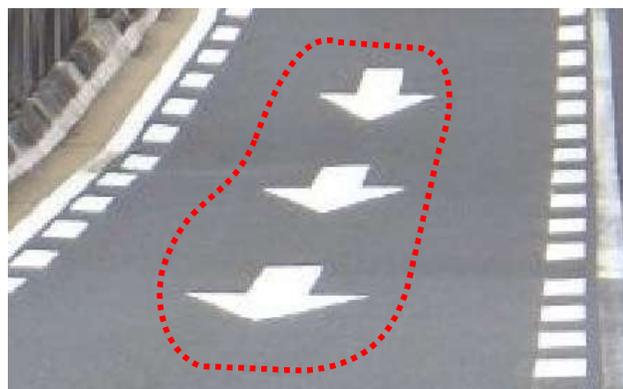
②進入禁止看板の設置

③壁高欄に矢印板の設置

(R2.5から順次実施、R2年度内完了予定)



①大型矢印



・大型矢印を3連続で設置

②進入禁止看板



・高輝度反射の「進入禁止」看板を設置
・基本的に両側に設置

③壁高欄矢印板



・高輝度反射シートを設置
・基本的に両側に設置

お客様に都市高速をより便利にご利用いただくため、ホームページによる案内のほか、リアルタイムの道路状況の情報提供や道路案内等、利便性を高める取り組みを行っています。

(1) ハイウェイテレホン

- **通行止**や**渋滞**、**平均所要時間**などの道路状況を音声及び文字にてご案内いたします。
- 道路情報は**約5分おき**に更新されます。

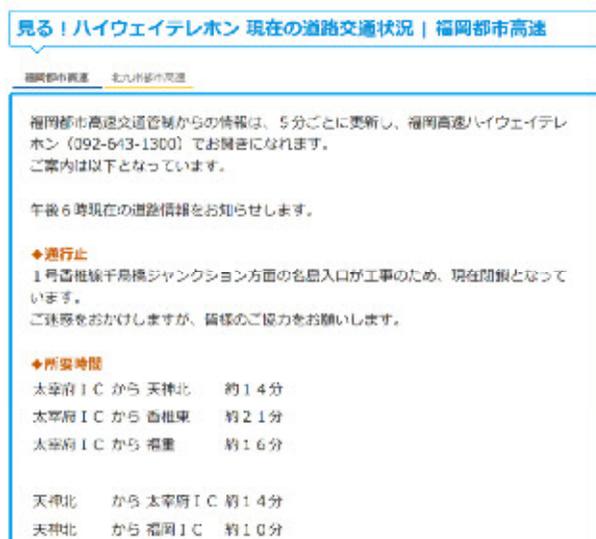
聞く！ 音声にてご案内しています。

福岡高速ハイウェイテレホン(自動音声) ☎ 092-643-1300
北九州高速ハイウェイテレホン(自動音声) ☎ 093-931-1400

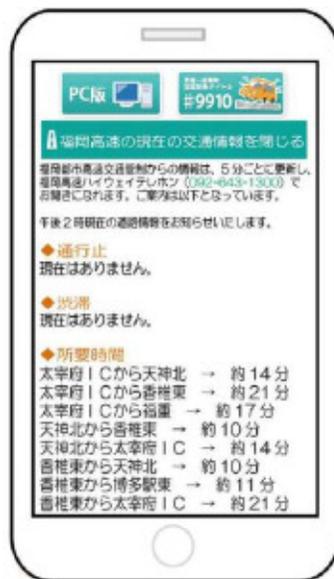
見る！ 文字にてご案内しています。

パソコンやスマートフォンからアクセスできます。

ホームページサイトイメージ



スマートフォンサイトイメージ



(2) イラスト地図「スイスイマップ」

都市高速における乗り降りの間違い、またジャンクション部の方向間違いなどを減らし、より便利で身近な道路として活用していただくため、イラスト地図「スイスイマップ」を作成し、都市高速の関係施設の他、集客施設等に常設しています。



【主な設置箇所】

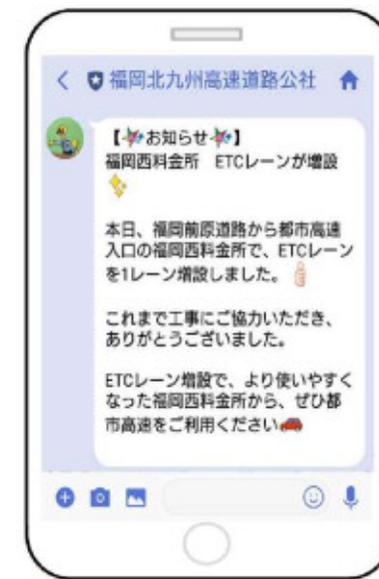
- ・都市高速の全ての料金所
- ・都市高速周辺の大規模商業施設
- ・レンタカー会社
- ・NEXCOのサービスエリア及びパーキングエリア
- ・主要観光施設及び観光案内所
- ・関係庁舎
- ・自動車学校
- ・道の駅
- など

(3) LINE

工事による規制やイベント情報、福岡高速6号線の工事進捗状況など、都市高速ご利用のお客様に役立つ情報を提供しています。



イメージ

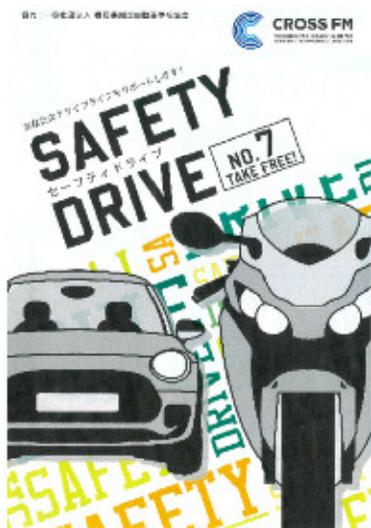


(4) ラジオCM

工事による規制や通行時の注意点など、都市高速の通行に必要な情報をラジオCMにより提供しています。

(5) 情報誌「SAFETY DRIVE」

新たな免許取得者向けにクロスFMが発行する冊子「SAFETY DRIVE」に、都市高速を利用する際の注意点や都市高速の出入口の紹介を行っています。



都市高速を利用する際の注意点

都市高速出入口の紹介

都市高速を安全運転で！ 都市高速の基本と安全運転5カ条

これであなたも都市高速マスター！

- スムーズな交通のため、速度は一定に！** → 時速60km以下
- 急ブレーキに備え、車間距離をとろう！** → 前車直後 60m以上
- ゆとりある運転のため、早めの合流！** → 3秒余裕
- ETCレーンの通行速度を守ろう！** → 時速 20km以下
- みんなの都市高速！思いやり運転をしよう！** → 思いやり度 100%

事故を防ぐためのポイント

- **ETCレーンでの通行はETC専用車に限り**
- **ETCレーンでの通行はETC専用車に限り**
- **ETCレーンでの通行はETC専用車に限り**

もしものときは… 緊急時の対応法

- **必ず安全確保！**
- **事故の報告は110番通報！**
- **故障やガス炎、落下物などのトラブルの誘因**

必ず事前にルートを確認しよう！

福岡都市高速
北九州都市高速

ハイウェイテレホン
093-642-1300
093-931-1400

都市高速
ホームページ
Internet: www.fukuoka-np.jp

【配布場所】 福岡県内の指定自動車学校 (全38校)

【配布対象者】 新規免許取得者

【配布期間】 令和2年3月～令和3年2月(1年間)

「都市高速を利用する際の注意点」、「交通事故・緊急時の対応」等の運転者に必要な知識のほか、「都市高速の出入口」や「ハイウェイテレホン・スイスマップ」の紹介等を掲載

事故防止のポイント・事故の時の対処法

ハイウェイテレホン・スイスマップの紹介

新型コロナウイルスへの対応

公社では、都市高速が担う物流、緊急輸送ルート等の機能の確保を最優先に、お客様、関係先の皆様及び公社職員の感染リスクの軽減を図るため、以下の対策を実施しています。

主な対応内容

都市高速の機能確保

都市高速の機能停止や通行の安全が損なわれることのないよう、「交通管制」「事故対応」「維持補修」「料金收受業務」等に携わる職員、委託業者等の感染防止の徹底

- ・ マスク着用、手洗い、消毒の徹底
- ・ テレワーク、時差出勤、小グループ化による接触削減

関係先の皆様（工事業者等）への対応の徹底

- ・ 工事一時中止、工期延期等に関する措置の対応
- ・ 施工中の工事等における感染拡大防止策の徹底等の通知